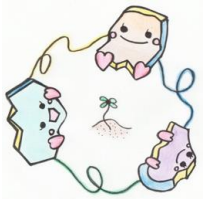
つながろう！ＪＡＰＡＮ ～ＰＳＷ

みちのくホットライン@JAPSW 第 24 号

東北復興 PSW にゅうす



２期目に向けて　～復興・創生期へ臨む～

福井康江（東日本大震災復興支援委員会委員長:宮城県支部）

６月の全国大会での東日本大震災被災地事業所の物販及び、熊本地方を震源とする地震被災地緊急応援事業につきまして、全国の皆様から篤いご協力をいただき心より御礼申しあげます。

東日本大震災復興支援委員会は新たな委員構成となり、２期目の活動を続けることとなりました。これも皆様が応援をつなぎ、広げていただいたからこそと感じています。

新体制となり、改めて私たち委員それぞれを振りかえってみると、東北県内で勤務していたり、業務を持ちながら県外被災者との関わりを続けていたり、震災後から自身の業務や生活自体に何らかの影響を受けてきました。そして震災の後、精神保健福祉士として、支援者としての有り様を改めて問い直して来たように思います。同時にソーシャルワーカーが大切にしてきた生活と環境というキーワードを、身をもって深く抱えてもきました。

さて、今期の委員会活動ですが、引き続きこの東北復興 PSW にゅうすや、協会 WEB サイトを通じての情報発信、来年３月には復興支縁ツアーを予定しています。更に、被災者支援に関わる支援者の方々へ視点を向け、委員会としてできることを具体化していきたいと考えています。

震災から５年半を過ぎ、「復興･創生期」という新しい復興のステージに入ったと言われており、「新しい東北の創造」という言葉も聞かれるようになります。確かに、住民の方から「前を向きたい」という声を聞く事が増えたように思いますが、ここにいる方々はあの時と同じ方々であることは間違いがないのです。「ごくあたりまえの生活」を守る事に長く関わってきた私たちだからこそできる支援を、また一歩進めて行きたいと思います。

2016 年6月山口県にて開催された全国大会の場で寄せられた仲間へのメッセージ

いつも　あいちの知多より…
応援しています！

頑張ろう
熊本!!

キョリはあっても、
思いは届きます
ともにありますように。
大阪より

少しずつ前に向けて進んでおられる様子に勇気づけられます。
福島より心をこめて

いつも　こころは
いっしょです
愛媛

その場に行かれませんが
いつも祈って願っています
ほいと

和歌山からずっと
応援します。

遠くても
心はちかく。
いつもそばにいます
大阪あべの

今は北九州で働いていますが、地元は大分で、熊本もいつも遊びに行っていたので、ショックでした。ご自分の事も大変な中、支援に携わり、大変かと思いますが、ここから応援してます!!　しらしんけん、がんばれー!!

全国の仲間が応援しています。共に復興に向けて進んでいきましょう。

掲載分以外にも東日本大震災だけではなく、熊本地方を震源とする地震など、各地大変な状況の中で奮闘されている仲間に向けて多くのメッセージが集まりました。お預かりしたメッセージは今後とりまとめの上、東北や熊本などへ改めてお届けする予定です。

復興支援委員会委員紹介

東日本大震災復興支援委員会としての２期目の活動がスタートしました。全国各地へ被災地の「いま」をお知らせするとともに、復興支援に関連する様々な情報発信、双方向の交流などを目指し、活動を続けてまいります。引き続き、よろしくお願いいたします。

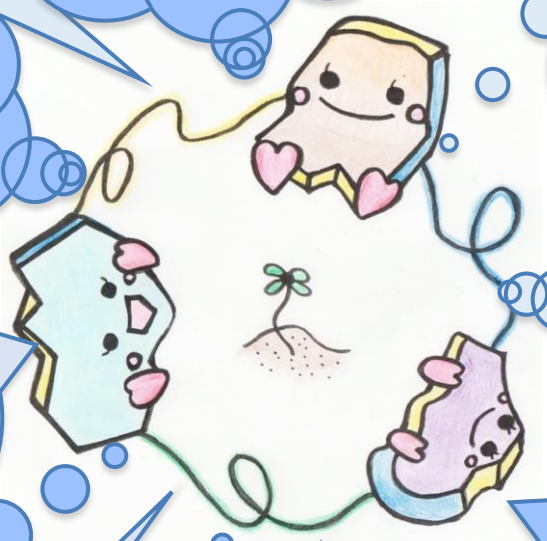
今泉英博　“いま”のこと、“これから”のこと、もしかすると人によってとらえ方が全く違う「復興」の実現を、また目指していきたいと思います。よろしくお願いします！

小淵恵造　5 年経った今でも復興は道半ば。群馬県でも未だ多くの方が避難生活を続けています。これからも東北の復興を見守り続けたいと思います。

宮部真弥子　精神保健福祉士の息の長い支援が、復興の着実な歩みの一助となりますよう、協会としてできることは何か、共に考えていきたいと思います。

伊藤亜希子　東日本大震災後に東京から岩手に移り、一年程前から福島におります。５年が過ぎ、さらなる震災が至る所で頻発する中、初心に立ち返り考え行動したいと思います。

小関清之　復興への確かな槌音と共に生じる深刻な課題。最前線にある仲間へのエールを送り続けたい。　今なお「ほんとうはここから必要なことがある」は続きます。



八木亜紀子　あっという間に 2 年が過ぎてしまいましたが、大変貴重な経験となりました。ありがとうございました。引き続きオブザーバーとしてよろしくお願いいたします。

鴻巣泰治　この度、思う事があり故郷の福島に転職しました。福島の今を発信できればと思っています。歳を取った新人委員ですがよろしくお願いいたします。

中山智幸　いままでに繋がった「縁」、これから出会い繋がる「縁」を大切にし、これからも皆さんと共に取り組み歩んでいきたいと思います。よろしくお願いいたします。

渡辺由美子　このたび新たに担当理事になりました渡辺です。前期の田村副会長の『息の長い支援を・・・』を引継ぎ、これからの復興支援を考えたいと思います。よろしくお願いいたします。

三瓶芙美　「戻る方」「残る方」たくさんの方々の想いとお顔が思い浮かびます。ここ神奈川で寄り添い、これからもふるさとを応援し続けます。

菅野好子　全国各地でいまも自然災害が続く中、皆様からの東北への想いは被災地物販からも心強く感じています。その想いを相互につなげられる活動をすすめて参ります。

菅野直樹　今回から委員に就任しました。復興とは何か、支援とは何か。意識しないと気付けないこと、目を向けないと見えないこと。この委員会でも考え、共有していきたいと思います。

長谷諭　みなさんの声をお聞かせください。ともに悩み、考え、歩んでいきたいと思います。

［東日本大震災復興支援委員会］

［担当副会長］　宮部真弥子
［担当理事］　渡辺由美子
［委員長］　福井　康江（宮城県支部）
［助言者］　小関　清之（山形県支部）
［助言者］　八木亜紀子（福島県支部）

［委員］
今泉　英博（岩手県支部）
伊藤亜希子（福島県支部）
小淵　恵造（群馬県支部）
菅野　直樹（福島県支部）
菅野　好子（岩手県支部）
鴻巣　泰治（福島県支部）
三瓶　芙美（神奈川県支部）
中山　智幸（宮城県支部）
長谷　　諭（宮城県支部）

【マスコット「えんが～る」とは】
被災地と全国の仲間との間に末永い縁（ゆかり）が生まれますようにとの願いから岩手在住の構成員の手によって生まれました。

第 24 号　2016 年 9 月 15 日発行
発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会　東日本大震災復興支援委員会
〒160-0015　東京都新宿区大京町 23-3 四谷オーキッドビル 7F　TEL.03-5366-3152　FAX.03-5366-2993
URL:http://www.japsw.or.jp/　★東日本大震災復興支援サイト　http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html